日本キリスト教団 東金教会〔１９〕

2019年5月12日復活節第４主日礼拝

年度目標　《キリストに根を下ろして生きる》

聖　句　キリストに根を下ろして造り上げられ、教えられた通りの信仰をしっかり守って…　コロサイ2章7節

【礼拝式次第】

司式	安中	延村
奏楽	澤井	本田
受付	梅田	上立
案内	梅田	立田
名札	〃	
礼拝感謝祈祷	〃	

前奏		中村
讃美歌	１７	一同
使徒信条	５６６	〃
交読文	１８	司・会衆
主の祈り	５６４	一同
聖書	コロサイ書４章７節～１８節	司会者
祈祷		安延
新聖歌	１５０	一同
み言葉の伝え		中村
〈信仰の仲間たち〉		
讃美歌	３３７	一同
献金		
礼拝感謝		足立
〃　〃		梅田
報告		安延
頌栄	５４１	一同
祝祷(派遣)		中村
後奏	新聖歌５８	聖歌隊

【集会案内】

聖書研究祈祷会　５月１５日(水)午後7:30～
早天祈祷会　月曜～金7時(土・日・祭日は除く)
定期長老会　本日礼拝後
聖書輪読会　５月19日(日)9:50-10:10
礼拝準備祈祷会　５月19日(日)10:25-10:30

【報告】

☆去る5月8日当教会の旧い会員であられた櫻井　　兄が間質性肺炎により逝去されました。葬儀は５月１４日午後１時半より中野区野方町教会でもたれます。ご遺族の上に主のお慰めをお祈り申し上げます。

☆先週転会されました椎名　　兄の住所は〒99-3200 大網白里市　　1190-1 ℡080-5427-8026です 宜しくお願い致します。

☆本日は総会資料作成日です。ご協力宜しくお願い致します。

☆本日教会学校では母の日礼拝がもたれました。時代と共に母の日の持ち方も変化しつつありますが何時の時代でも愛に溢れた家庭営まれますよう祈ってやみません。

☆今年の一泊夏期キャンプは７月23(火)・24日(水)と、早くもたれます。申込締切は６月１６日までです。また、教会学校一日夏期学校は7月26日(金)に持たれます。お子さん、お孫さん等お寄越し下さい。

☆ペンテコステ(6月9日)をお覚え下さい。

※２０１９年度教会総会日程は５月１９日が教会総会、１２日が総会資料作りです。お覚え下さい。

【分区・支区・教区報告】

○5/13　支区常任委員会　17:30- 於・西千葉
○5/28　東京教区総会　10:00- 於・富士見町
※2019年度の東金教会学園理事・評議員会は５月23日(木)に予定しております。

【5月12日～5月18日の誕生者】

○武田　　姉　○今井　　※おめでとうございます。主に繋がる枝々であることを覚え、皆で祈り合わせて参りましょう。

【先週集会状況】

集会名	男	女	計
主日礼拝(5/5)	15	34	49
聖研祈祷会(5/8)	4	3	7
聖書輪読会(5/5)	3	3	6
教会学校(5/5)	6	9	15

早天祈祷会			
日	男	女	計
5/6			
5/7	1	1	2
5/8	1	1	2
5/9	1	1	2
5/10	1	1	2

主日礼拝献金(5/5)……３８,０３４円
教会学校献金(5/5)……６,５００円

【今日のメッセージ】

題　［信仰の仲間たちⅠ］
聖　書　コロサイ書4章7節～18節
1.信仰の仲間
2.ティキコとオネシモ
3.直された者

【次週(５月１９日)礼拝案内】

題　〈誰の友ですか〉
交読文　１９
聖　書　ヨハネ福音書15章12節～17節
讃美歌　１６番　５２６番
新聖歌　３２３番

【次週(５月19日)礼拝式当番者】

御言葉の伝え	…	朴
司式者	…	藤田
奏楽者	…	中里
受付者	…	今井
案内者	…	武田
名札当番	…	土屋
礼拝感謝祈祷	…	藤本
〃　〃	…	薬師寺
cs お話し	…	藤本
会堂清掃者	…	薬師寺
〃　〃	…	
花係	…	猪野
看板書き	…	澤本

【聖書から】

時をよく用い、外部の人に対して賢くふるまいなさい。いつも、塩で味付けされた快い言葉で語りなさい。そうすれば、一人一人にどう答えるべきかが分かるでしょう。

コロサイ書四章五、六節

―先週のみ言葉の伝えは二～四節であった。それで五、六節を簡単にコメントする―

私たちが人と接するとき―信仰者らしく語り、振舞たいーという潜在的思いがその背後にあるのではないか。パウロもそうであったのだと思う。どうしたら信仰に生きる者らしく、クリスチャンらしく話し、振る舞うことができるか？　この思いが溢れ出て時にぎこちなく、偽善的になることもしばしばあるのが私達である。パウロの言葉からうかがい知るのは―「時をよく用い」、つまり状況把握をすることの大切さ、である。成り行きにまかせない。いま此の場でどう語り振る舞うことが適切かを祈りながら模索することが必要である。「賢くふるまう」―これも自分の智慧を用いよ、と云うことである。必要なことは神が与えてくださる！、これは事実である。信じて良い言葉である。けれどもだからといって、漫然と無手勝流で、というのでなく、心の中で「主よ！適切な言葉を与え、適切に振る舞わせて下さい」と祈りながら語り、振る舞うことが大事である。その祈りのないままに成り行きにまかせるというのは信仰者としては我侭だと思う。パウロはまた「塩で味付けされた快い言葉」を語れと云う。目標とする基準があるのである。信仰者らしく在り、語り振る舞うことは神のご命令である。そのさい注意しなければならないのは我身に栄光を帰そうとしないしないことだと思う。間違って自分を輝かそうとし、自分のためでなく神の栄光が表されることを祈り、願いながら人と接する。その大切さを思うと思うとき、偽善が立ち上ってくる。神に信頼うと。とはいえ、まことに失敗の多い私達である。神にお許しを願いながら、それでも神の御用をそ の振舞においてもすることに努めて行きたい。

【礼拝心得】

①礼拝は前奏から後奏までを守る。
②入堂したら私語を交さず、前奏までの時を黙想する。
③遅れてきた者は静かに入堂し、特に祈祷の時は入堂を控え、その場で共に祈りを守る。
④礼拝後は互いに挨拶を交し、交わりの時を持つ。
⑤各自週報棚を整理し、欠席者に週報を届ける。